



キク編

病害虫注意報 2023年12月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病の発生に注意しましょう！

閉めきったハウス内は湿度が高くなり、白さび病が発生しやすくなります。また、低温期ですが乾燥しやすい所を中心にハダニ類の発生にもご注意ください。



症状

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある。

多発条件

- ▶ 15～20℃の気温。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶ 降水量が多く、比較的涼涼な時期。
- ▶ 肥料不足、または極端な窒素過多。

対策

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 予防的に薬剤散布を行う
- ▶ 適切な施肥量で管理を行う
- ▶ 排水不良圃場では、排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

今月のおすすめローテーション



地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては薬害が発生する場合がありますためご注意ください。さらに、展着剤・葉面散布剤等を加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	inochioキクチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	2A	ハダニ類	ペンタック水和剤※	1,000倍	—	—
消灯時	11	白さび病	予・治 inochioオペラフラワー乳剤	2,000倍	発病初期	3回
	23	アザミウマ類・アブラムシ類 ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
発蕾時	39	白さび病・アブラムシ類	予 ピリカット乳剤	1,000倍	発生・ 発病初期	6回
	20D	ナミハダニ	マイトコーネフロアブル	1000倍	開花前まで	1回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	25A	ハダニ類	ダニサラバフロアブル※	1,000倍	発生初期	2回

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

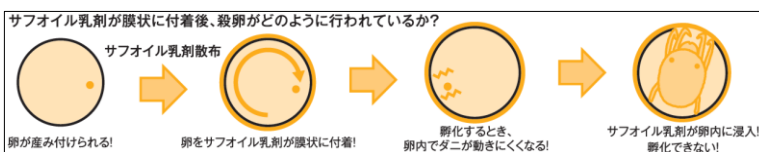
※花き類・観葉植物登録

サフオイル乳剤

殺卵活性のメカニズム

低温期の使用がおすすめ！

- 卵～成虫まで効果が期待できる
- 散布時に展着剤は加用する
- 抵抗性が発達するおそれが殆どない



300～500倍/ハダニ類/発生初期 発生初期からの連続散布をおすすめします！